

進研ゼミ 高校講座

日本史

合格への 100 題ライブ

体験版

第3回 [実戦力・難関]近世（～列強の接近）

江戸時代の諸産業の発展と学問の関係を読み解く

合格への100題 P.45 第4問

第4問 次の設問について、該当するものを選択肢の中から1つずつ選びなさい。

(2007 上智大 外国語他 改)

- 問1 17世紀末頃、官営や民営の新田とともに、町人が請け負う新田も登場する。18世紀初め、ある商人が開いた新田でもっとも有名なものは次のどの地方のものか。
(a) 武蔵 (b) 下総 (c) 三河 (d) 近江 (e) 河内
- 問2 17世紀後半の農業技術の改良によって新たに登場したものとして、該当しないものは次のどれか。
(a) 千歯扱 (b) 千石籠 (c) 備中鍬 (d) 唐箕 (e) 田下駄
- 問3 17世紀末、五穀・菜類・果樹など10巻に分け、見聞と体験に基づく農業技術を記した農書をあらわした人物名は次のどれか。
(a) 宮崎安貞 (b) 田中丘隅 (c) 大蔵永常 (d) 二宮尊徳 (e) 大原幽学
- 問4 17世紀の商品作物を示すものとして「四木三草」という言葉があった。このうち、三草に該当するものは次のどれか。
(a) 紅花(べにばな) (b) 芹(せり) (c) 薺(なずな) (d) 葛(くず)
(e) 撫子(なでしこ)
- 問5 16～17世紀にかけて、酒造業の分野では池田や伊丹などが優位であったが、享保頃から江戸への下り酒でこれらの地を凌ぎ、首位にたった生産地の名は次のどれか。
(a) 銚子 (b) 伏見 (c) 灘 (d) 野田 (e) 龍野
- 問6 近世初期には、朱印船貿易や、まだ交通体系が整備されない時期に地域による大きな価格差を利用し、自分の船と蔵を用いて儲けた有力商人が、堺、京都、博多、長崎、敦賀などを根拠地にしたが、元禄期になると三都の繁栄とともに新たな豪商が出現している。これらの豪商の中で、呉服屋と両替商として財をなした人物名は次のどれか。
(a) 紀伊国屋文左衛門 (b) 奈良屋茂左衛門 (c) 淀屋辰五郎 (d) 三井八郎右衛門
(e) 鴻池善右衛門

第1問 17～18世紀の日本近世史について、次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。
(2009 上智大 法 改)

1680年に5代将軍に就いた徳川綱吉は、<1>堀田正睦を大老にしたが、彼が死亡したあとは、側用人だった<2>柳沢吉保などを起用して、政治を行った。

この将軍は、…(中略)…<3>林春斎を<4>大学頭に就けて<5>朱子学を幕府の正学とする一方、<6>湯島聖堂を設け、儒教を重視した。一方で、彼は仏教にも帰依し、1685年から生類憐みの令を出し、犬をはじめとする動物の殺生を禁止して厳しく取り締まった。さらに、彼は1684年、神道の影響を受けた上で<7>服忌令を出し、近親者の死を悼んで喪に服することを促した。こうして、戦国時代以来の武力による敵の殺傷によって自らの上昇を図るという価値観は、<8>かぶき者ととも完全に否定される格好となった。

…(中略)…

この将軍が1709年に死んだ後、6代将軍に就いた<9>徳川家宣は、すぐに生類憐みの令を廃止し、儒学者の新井白石や側用人の<10>間部詮房などを登用して、政治の刷新を図った。『采覧異言』などの著書でも有名なこの儒学者は、<11>有栖川宮家を新設したり、7代将軍<12>徳川家重と皇女との婚約をまとめたりして、先代の将軍と同様に朝廷との協調に努めた。…(中略)…しかし、彼の主導による政治への反発は強く、また再度の貨幣改鋳は、かえって経済的停滞を招くことへとつながった。

□ 問い 前掲した文章の下線部<1>～<12>の示す語句について、歴史的に正しいものを○、誤っているものを×で表すと、連続する2件(<1><2>、<3><4>、<5><6>など)は、○、××などとなり、その組み合わせは、以下の①～④までの計4通りとなる。

① ○○ ② ○× ③ ×○ ④ ××

- (1) 下線部<1><2>の正誤を○×で表すとき、その組み合わせを前記の①～④より一つ選びなさい(以下の(2)～(6)も同様)。
- (2) 下線部<3><4>について。
- (3) 下線部<5><6>について。
- (4) 下線部<7><8>について。
- (5) 下線部<9><10>について。
- (6) 下線部<11><12>について。